



# 校友会会報誌「ALL YNU」第5号!

横浜で学び、  
横浜から飛び立つ



"The Drinking Fountain  
Presented to the City of Yokohama  
In Memory of  
Our Countrymen  
Who perished in the Earthquake, September  
1, 1923  
The Japanese Committee

## 横浜国立大学のブランド価値を高めるために

長谷部勇一 横浜国立大学学長

本学は、実践的な学術の国際拠点として『グローバル・エクセレンス大学』を目指しています。実践というのは理論だけでなく、その応用として社会に生かすことを重視することです。現実社会は、常に変化発展しており、特に21世紀以降の科学技術の発展や国際社会の変化は予測不可能な形で進展しています。このような生きた現実に触れる上で、経験豊富な卒業生との交流はとても大切なことです。加えて、現実の諸問題は経済学や工学など単独の専門分野だけでは解決することが難しく、その解

決のためには様々な専門分野とのヨコの交流、国際的な視野で物事を考えること(ソトの交流)も大事です。本学は、このようなタテ、ヨコ、ソトとの交流を活発にして実践性と国際性を強化し、大学ブランド価値を高めることが出来ると考えています。

今後、ALL YNUとして皆が協調して、21世紀のグローバル社会に対応し、イノベーションを推進し、実践的人材の育成を進め、社会連携も強化して、未来を切り開く横浜国立大学にしていく所存です。YNU校友会へのご支援、ご協力のほど宜しくお願いします。



HASEBE Yuichi

1954年生まれ。1984年一橋大学大学院博士課程単位取得退学後、横浜国立大学経済学部助教授。1990年カリフォルニア州立大学バークレー校客員研究員。1996年横浜国立大学経済学部教授。2008年同大学大学院国際社会科学研究院教授



HIRUTA Shiro

横浜国立大学校友会会長  
旭化成株式会社相談役

1941年福島県生まれ。1964年横浜国立大学工学部応用化学科卒業後、旭化成工業株式会社(現:旭化成株式会社)入社。2003年代表取締役社長に就任。

## 横浜国立大学の更なる飛躍を支えるため

蛭田史郎 横浜国立大学校友会 会長

今年4月より前任の杉田会長から校友会の会長を引継ぎました。設立以来4年経ち、関係者のご協力で校友会の活動も軌道に乗ってきました。これらの活動をさらに強化すると同時にこれからは、従来以上に財政的に大学を支援できる仕組みを新たに検討し実行に移す必要があると考えております。

大学は従来のままだと、財政的に大きな困難に突き当たり、更なる飛

躍をする活動の大きな障害になるリスクもあります。校友会は会員皆様のご協力、ご支援を得て、大学の財政的基盤の強化を側面から積極的に支援できるような行動をしたいと考えています。

また、ホームカミングデーに留まらず、校友会会員相互の交流の機会を増やす方策も検討したいと思っています。



### 横浜国立大学基金のご案内



基金の詳細は下記 URL からご覧ください。

E-mail: [ynu.kikin@ynu.ac.jp](mailto:ynu.kikin@ynu.ac.jp)

<http://kikin.ynu.jp/>



横浜国立大学基金

YOKOHAMA National University Fund

2 学長・会長 メッセージ

## 4 校友会の活動状況紹介

### 【学生支援】

部活動激励会 課外活動団体激励会	新入生歓迎イベント 横浜港ナイトクルージング		地域課題実習コンテスト 「YNU 地域実践 アワード 2018」
新入生歓迎イベント 新入生歓迎会	アプリ コンテスト		

### 6 【就職支援】

就職支援活動 就職までの道のりを サポート		キャリア 教育		講演会情報
「現役 OB/OG による 模擬面接会」開催		マスコミ 就職希望者相談会		

8 卒業生の活躍 rakumo 株式会社 代表取締役社長 御手洗 大祐  
株式会社ハーモニー人財 代表取締役社長 日月 真紀子

9 サークル紹介 ・アメリカンフットボール部 ・BaySound Jazz Orchestra

10 横国 Day (ホームカミングデー) ・校友会総会のお知らせ

11 校友会からのご報告 平成 30 年度活動・決算報告／ご寄付いただいた皆さま

12 WEB 会員登録／ホームページのお知らせ



## 学生幹事会 Seagulls の活動

### 学生の、学生による、学生のための組織

校友会活動の主なターゲットは在学生ですので、在学生は受け身になりがちです。しかし、学生自身も主体性を持ち、学生目線と社会人目線とが調和した運営体制で校友会を盛り上げていくことが本学のさらなる発展には欠かせません。そこで、「学生の、学生による、学生のための、組織」として学生幹事会 Seagulls を 2016 年 3 月に立ち上げました。Seagulls では、定期的のミーティングを通して、大学生活をより豊かにす

るためには、今何が必要なのかということ日々考えています。現在「新入生歓迎会」、「YAC」、「若手社会人と学生交流会」などの企画運営を行っていますが、学生目線で YNU のブランドアップを目指し、新規の企画にも取り組んでいきたいと考えています。

既存企画の改善や新規企画の発案など、横国をよりよくしたいと熱い思いを持った学生たちがアウトプットできる場所が Seagulls にはあります。これを読んだ



あなたも我々と一緒に横国を改革しませんか？

気兼ねなく [seagulls.ynu@gmail.com](mailto:seagulls.ynu@gmail.com) までご連絡下さい。



## 部活動激励会 課外活動団体激励会

4月26日(金)に長谷部学長主催による課外活動団体激励会が盛大に開催されました。

当日は31団体(運動部系23団体、文化部系8団体)59名の学生が参加し、学長、校友会会長をはじめ、理事、部長、各団体の顧問教員、各団体のOBの方など、多くの「サポーター」が学生を激励しました。

参加した学生は、学長や校友会会長などを囲みながら懇談し、また、各団



体の代表者が「上位リーグに昇格します!」「優勝を目指します!」といった、今年度の抱負を発表するなどして、熱気溢れるものとなりました。

最後に、今年度の活躍を祈念して全員で「みはるかす」を合唱し、激励会を締めくくりました。

## 新入生歓迎イベント (校友会 同窓会 大学共催) 横浜港ナイトクルージング

5月23日(木)18:30より横浜港クルーズが開催されました。当日は晴天で絶好のクルーズ日よりとなり、約160人の参加者が素晴らしいNIGHT VIEWを楽しみました。高久製パン/ウチキパンさんの美味しい各種パン(600個)の食べ放題も好評でした。最後になんと横浜三塔(KING、QUEEN、JACK)が真正面に見えて皆さん大喜びでした。



## 新入生歓迎イベント 新入生歓迎会



4月17日(水)、第一食堂(レンガ館)にて新入生歓迎会を開催しました。この歓迎会は、学生幹事会が中心となって企画し、当日は、60名の新入生と学長をはじめとする教職員、各同総会からOBが多数参加し、アイスブレイクで盛り上がった後は、おいしい料理と学部を越えた仲間との会話が弾んでいました。最後は、ビンゴゲームを楽しみ、ついでに賞品をゲットして素敵な時間を過ごしました。

## 地域課題実習コンテスト 「YNU 地域実践アワード2018」

2018年度末に開催された地域連携シンポジウムにおける「地域実践アワード」では、様々なプロジェクトが各々の取り組んだ成果を発表しました。新たな商品開発を取り組むプロジェクトや、そのプロジェクト自体の仕組みの改善を取り組むプロジェクト、海外

への支援を行うプロジェクトなど、実に多様でした。

学生たちは、プレゼンテーションにおいて多人数の前でいかにうまく表現し、言いたいことを伝えられるかが重要だということを学びました。プレゼンの後に行われたポスターセッションでは、

プレゼン中に話しきれなかった内容をより詳しく紹介するという良い機会となりました。

MVP・準 MVP 賞は投票の総票数により、校友会賞は社会人・教員の投票数に



より、MVPは「アグリッジ商品開発プロジェクト」、準 MVP は「おおたクリエイティブタウン研究プロジェクト」、準 MVP・校友会賞は「現代世界の課題の探索と協力の実践プロジェクト」と、「ローカルなマテリアルのデザインプロジェクト」が受賞しました。



2018年度優勝は「TH」、準優勝は「ScholarHigh」となりました。この他4つのスポンサー賞についてはホームページより確認できます。

## アプリコンテスト

<http://ynu.yokohama/>



スマートフォンアプリやwebアプリなどの開発力を競うYACも今年で6回目を迎えました。優勝賞金は30万円という、大きなイベントです。例年IT教育やキャリア支援を目的として開催しており、今年も教授の方々やIT業界で活躍されているOB・OGの方々、企業のスポンサーなど多くの協力をいただき、大変盛り上がりました。

今年のテーマは「日常をかえるアプリ」だったのですが、発想力に富んだ作品が多く見られ、審査員の方々からも多くの質問を受けていました。また、「使ってみよう」と思わせるものが多く、楽しいコンテストになりました。受賞作品はホームページにて公開していますので、興味のある方は是非見てください。

今年は予選が9月、本選が11月の予定です。応募期間は6月下旬から8月中旬までを予定しています。奮ってご応募ください。



# 就職支援



## 就職支援活動

### 就職までの道りをサポート

校友会は同窓会と協力して、1年次から4年次の就職までの道りをしっかりサポートします。

劇的に変化するこの時代、大学で身

に着けた力を社会で発揮するためには、早くから先輩や学外の方の講演や話を聞いて広く社会を知り、先輩方との交流も経験して、自分が納得した進路を

目指すことが大切です。キャリア教育、外部講師の講演会、個別就職相談、模擬面接など多くのメニューを用意してみなさんを待っています。

<b>1年次</b>	社会人の基本を体感する	キャリア教育 まなび座	自分たちで問題をみつけ、チームで解決策を見出し、発表というプロセスを通じて課題解決力を鍛える
<b>全学年</b>	貴重な体験談等からグローバル	キャリア教育 グローバル化と日本人	異文化理解とコミュニケーションを学ぶ
<b>2年次以上</b>	世界への対応の基礎を学ぶ	キャリア教育 グローバルビジネス実践論	主要業界のグローバルビジネスで活躍したビジネスマンによる体験に基づく実践講座
<b>3年次</b>	就職活動実践に備えて	個別就職相談、模擬面接	キャリア・サポートルーム利用がお奨め、模擬面接は別途ご案内
<b>全学年</b>	早くから広く社会を知る	5学部と校友会共催の講演会	視野を広げ世界を鳥瞰し、将来の進路や人生を考える参考に



## 就職活動開始を前の2月に「現役OB/OGによる模擬面接会」を開催

大学において本年も学生の就職活動応援 模擬面接会が開催されました。

校友会と同窓会が費用を分担し大学/学生支援課就職支援係と協力して開催しています。学生の参加は雪の影響で81名

となりました。面接官は51名となりました。

これから面接に臨む学生の緊張した真摯な姿に先輩として応援したいという気持ちで会場を満たしていました。

面接の後、面接官より学生一人一人に良いところ改善すべき事のフィードバックが行われその後個別面接となり、学生の緊張した顔がだんだんと自信が出てきた表情に変わってきました。

## マスコミ就職希望者説明会

### NHK ディレクターを囲む講演と就職相談の夕べ

マスコミ志望の学生を主なターゲットにした「NHKディレクターを囲む講演と就職相談の夕べ」と題した催しが4月8日、教育学部7号館で開催されました。教育学部、教育人間科学部をはじめ都市科学部、理工学部など多様な学部から約40人の学生が集まり、長年、ドラマ制作を手掛けてきた増田静雄ディレクター(現名古屋放送局)＝上の丸写真＝の話を傾けました。

本学にはテレビ局、新聞社などを目指す学生が多数いるものの、その職場

実態を聞く機会があまりないことから、学生の就職意識を掘り起こそうと就職支援委員会が主催しました。

増田さんは、朝の連続テレビ小説「花子とアン」(2014年)をはじめ、少女誘拐事件をめぐる地方警察と記者クラブの対立や人間模様を描いた土曜ドラマ「64(ロクヨン)」(2015年、文化庁芸術祭大賞受賞)などを制作した狙いや経験、初任地・長崎放送局での仕事ぶりについて、ざっくばらんに語ってくれました。



増田さんは「ドラマ制作でも幅広い取材が必要」「ドラマは観る人が感じ、考える余韻を待たせられる」などとドラマ制作の舞台裏や報道ドキュメンタリーとの違いを強調。参加した学生の多くがディレクター職の魅力に目を輝かせ、質問が途切れることなく続きました。

## ■ キャリア教育

### ■ 社会人卒業生も講師を務めます／グローバルに活躍できる人材を輩出するために

主体的にものごとを考え、グローバルに活躍できる人材の育成が求められる昨今、横浜国立大学では教育の質的転換を図っています。その一つが、学業と職業の係りを意識させるキャリア教育です。校友会は、多様な業界で活

躍する卒業生をゲスト講師として紹介し、理論と実践をつなぐ授業づくりを支援しています。

4年前より「まなび座Ⅰ」(高大接続・全学教育センター市村光之教授)を立ち上げ、3年前からは「グローバル化

と日本人(同市村教授)」、「グローバルビジネス実践論」(経済学部 関仁非常勤講師)の2科目を加え、3科目に協力し、グローバル人材育成に努めています。

〈下記3講座は全学部生受講可能、2単位〉

#### まなび座 校友会リレートーク

1年次 春学期

大学での主体的な学びを考える科目「まなび座」(H27年度より開講)は昨年も好評でした。12名の卒業生をゲスト講師に迎え、学業と職業の係り、仕事と結婚生活の両立、自律的にキャリアを拓くなどのテーマで学生たちと語り合い、熱い議論が交わされました。

#### グローバル化 日本人

全学年 秋学期

ビジネスの観点から異文化コミュニケーションを考え、グローバル環境で活躍する下地を作るためH28年度に新規開講しました。欧米、アジア、イスラム圏で駐在経験のある卒業生が登壇し、外国人との信頼関係構築について考えました。まさに校友会の多彩な卒業生人脈が活かされた科目です。

#### グローバルビジネス・ 実践論

2年次以上 秋学期

世界経済は益々グローバル化が進展しています。本講座では、主要企業の海外ビジネスで活躍した8名の経験豊富な講師による、ビジネス世界の現実、企業活動の実態、海外駐在員のやりがいと苦労話の体験談から様々なジャンルの実務の世界を肌で感じ吸収することで、将来の職業を選択する一助になるでしょう。



## ■ 講演会情報

### ■ 校友会は5学部と共催で講演会を5回開催します

教育学部、経済学部、経営学部、理工学部、都市科学部 各学部と共催で合計5回開催。視野を上げ世界を鳥瞰し将来

の進路や人生を考える参考に、社会で活躍する方を講師にお呼びします。詳細は校友会ホームページで案内し

ますが、学生はどの講演会も参加できます。保護者の方も参加可能です。

### 令和元年度開催予定

教育学部	日程・講師・テーマが決まり次第校友会ホームページでお知らせします。
経済学部・横浜経済学会	令和元年11月7日(木) 講師：佐分利応貴氏(独)経済産業研究所 国際・広報ディレクター/研究コーディネーター(政策史) テーマ：「誰でもできる“社会の病気の治し方”講座」
経営学部・経営学会	日程・講師・テーマが決まり次第校友会ホームページでお知らせします。
理工学部	令和元年11月25日(月) 講師：國中 均教授 宇宙航空研究開発機構理事、JAXA宇宙科学研究所所長 テーマ：「イオンエンジン ～はやぶさ／はやぶさ2小惑星探査から深宇宙探査船団へ～」
都市科学部	日程・講師・テーマが決まり次第校友会ホームページでお知らせします。

### 平成30年度開催実績

教育学部	講師：矢島ノブ雄氏(オンエルス/FUNBEST代表/日本即興コメディ協会代表) テーマ：心理的安全性と笑い これからの学校教育における笑いのあり方
経済学部	講師：武田英明氏(国立情報学研究所 情報学プリンシパル研究系教授) テーマ：AIと社会 ～未来社会を作るのは人かAIか～
経営学部	講師：村上憲郎氏((株)村上憲郎事務所代表取締役) 元 Google 米国本社副社長兼日本法人代表取締役社長 テーマ：IoT、ビッグデータ、人工知能が切り拓く、第4次産業革命を生き抜く
理工学部	講師：小林誠氏(2008年ノーベル物理学賞受賞者) 名古屋大学特別教授、高エネルギー加速器研究機構特別栄誉教授 テーマ：反物質 ～素粒子から宇宙まで～
都市科学部	講師：花田琢也氏(日揮(株)執行役員CDO) テーマ：変革のリーダーたれ!



左：矢島ノブ雄氏  
右：小林誠氏



幅広い分野でそれぞれの才能を発揮し、  
それぞれのステージで活躍する卒業生をご紹介します。

## より良く生きるために学ぶ

オックスフォード大学のオズボーン准教授は、2013年に今後10~20年以内に、5割近い仕事がAIに代替される可能性が高いと予測しました。私は当社の技術パートナーである米国の大手IT企業のAI分野における先進的な技術を見ていますが、未来予測はかなり確度の高いものであることを痛感しています。

こうした中、今後の就職を考えられる皆さんは将来をとっても悩まれているのではと思いますが、私は未来を楽観的に考えています。

これまでの歴史において技術により生産効率が指数関数的に向上していることを考えれば、配分の問題が解決すれば、誰もが飢えない社会、

また多くが働かなくても生きていける社会が数十年以内に到来すると考えています。皆さんの前には「食べるために働く」時代から「より良く生きる」ために働く時代があるのです。

リベラル・アーツ（教養）の価値を重視し、文理様々な専門を志す人が交わる環境を守り続けてきた私達の大学は、これからの社会で活躍する人材を輩出するポテンシャルを秘めています。

個で考えると目の前の大きな課題に怯んでしまいがちですが、是非皆さんには好奇心に忠実に、学内外の様々な人と交流を深めていただき、より良く生きるチャンスを掴んでいただきたいと思っています。



rakumo株式会社  
代表取締役社長

**御手洗 大祐**  
MITARAI Daisuke

1996年教育学部卒業。96年NTT入社後、起業と同社の米CNET Networks社への売却を経て、当社設立・代表に就任。



株式会社ハーモニー人財  
代表取締役社長

**日月 真紀子**  
TACHIMORI Makiko

## The sky's the limit

大学を卒業してもキャリアを断念する女性があまりにも多いことに疑問を持ちました。女性も男性と同様のキャリア構築ができる社会になってほしいと願い、女性幹部を専門に紹介する人材会社を設立しました。これからは益々多様な経験、発想、能力を持った人財が活躍できる社会に変化していきます。素晴らしいチャンスが皆に開かれているの

です。限界を決めているのは、自分自身であることが多いので、キャリアで悩んでいる時には、限界を外す発想をしてみるのも時には有効かと思っています。両立は無理、リーダーになるのは無理、語学は無理と自分で決めつけてしまう前に、どうすれば可能になるか発想転換をして、チャンスを自ら掴む若者が増えることを願います。

1991年経済学部卒業。証券会社、法律事務所勤務を経て、女性幹部・外国人女性幹部を企業に紹介するヘッドハンティング会社、ハーモニー人財を2007年に起業し代表を務める。

平成30年度部活動コンテストより体育系1位と文化系2位の団体メッセージをお伝えします。

部活動コンテストは、平成30年をもって終了しますが、  
今後課外活動団体激励会において部活動を支援していきます。

## アメリカン フットボール部



<http://mastiffs.jp>

私たち、横浜国立大学アメリカンフットボール部 MASTIFFS は1971年に創部し、現在は135人の部員が在籍しています。昨年度は、関東1部リーグ BIG8 で3位の成績を収めました。今年度は『OVER THE TOP - GO WILD -』を目標・スローガンに掲げています。ゆくゆくは日本一のチームになるために、NFL など一流のレベルを目指してアメフトに打ち込む決意を込めました。そのために、既成概念の枠を打ち破って本能のままに Football に向き合う姿を目指します。

秋に開催されるリーグ戦に向けて週5日、真剣に練習を行っています。アメフトは体力だけでなく知力も大変重要なスポーツです。推薦のない国立大学であろうとも私立大学に打ち勝ち、関東国立大学の中でも上位に位置できているのは、勉学の合間を縫って何度もミーティングを重ね盤石な体制で試合に臨んでいるからです。

部員の一人ひとりが本気でアメフトに向き合い、更なる高みを目指して練習に励んでいます。この機会にアメフト部に興味を持っていただけた方は、ぜひ当部のHPや各種SNS(Facebook・Twitter・Instagram)にて日々の活動をご覧ください。試合会場でお待ちしています。



## BaySound Jazz Orchestra



<https://baysoundjazz.wixsite.com/yjubjo>

当サークルは、ビッグバンドジャズを演奏する団体です。ビッグバンドとは、ジャズのバンド形式のひとつで、10~20人ほどの大人数で編成されます。少人数で行うコンボ・ジャズとは違い、ジャズ本来の即興演奏とアレンジされた楽曲によるバンドアンサンブルの両方を楽しめる音楽ジャンルです。『聴く人も、演奏する側もともに楽しめる音楽』をモットーに、日々活動を行っています。

年間の活動で大きなイベントである、毎年8月に行われるビッグバンドジャズの全国大会、山野ビッグバンドジャズコンテストへ出場し、好成績を収めることを一つの目標としています。当サークルは6年連続で出場しており、本年2019年度は東日本予選を16バンド中5位で通過でき、見事7年目の出場を果たしました。現在は8月11日、12日に行われる本選に向けて日々練習しています。

また、ポピュラー音楽の演奏という特徴を活かして、大会以外の演奏も広く行っています。大きな会場で行われる祝賀会などのパーティーでのBGMから、地域のお祭りのプログラムとしてのミニコンサートまで、フレキシブルに活動し、『BJO』並びに『横浜国立大学』の名前を多くの人に知ってもらおうきっかけとなっています。

当サークルについてさらに詳しく知りたい方は、上記ホームページをご覧ください。





## 第14回 ホームカミングデー／ 横国Day 2019 開催

令和元年10月5日(土)

イベント：大学概要説明、グリークラブコンサート、  
交流会、プライド卒業生文庫表彰式他(予定)



### 常盤台キャンパスでお待ちしております！

横国 Day は、卒業生・修了生、たな親睦を深めることを目的とし、  
そのご家族、在学生と保護者、教職 今年度で14回目の開催となります。  
員および地域の方などがキャンパス 是非お誘い合わせの上、ご参加くだ  
に集い、旧交を温めるとともに、新 さい。



2019年に日本学士院賞を受賞した

### 藤野上席特別教授によるメイン講演開催決定！



藤野教授は、橋梁などの長大な構造物に  
発生する様々な振動現象を解明し、「構造  
制御学」という新しい分野を国際的に確立  
させました。

**藤野 陽三** FUJINO Yozo

横浜国立大学 先端科学高等研究院上席特別教授、東京大学名誉教授

「日本学士院賞」は、文部科学省の特別の  
機関である日本学士院が授与する、日本の  
学術賞としては最も権威がある賞です。

### 交流会

本学の名誉教授も多数参加予定！ぜひご参加ください。

日 時：同日 15:30～17:00(予定)

場 所：第一食堂

参加費：3,000円(事前申込の場合) ※当日申込は4,000円

申し込みは、右下「横国 Dayウェブサイト」からご確認ください。



イベント内容、タイムスケジュール、交流会のお知らせは、  
決定次第、右記横国 Day ウェブサイトでお知らせします。

お問い合わせ先：横浜国立大学学長室広報・渉外係 TEL：045-339-3016



横国 Day ウェブサイト

<https://www.ynu.ac.jp/about/project/yokokokuday/2019.html>

### 横浜国立大学校友会総会のお知らせ

令和元年10月5日(土)11:30～12:00、教育文化ホー  
ル大集会室にて、第5回横浜国立大学校友会総会を開  
催します。当日は会員はもちろんのこと、在学生の保  
護者の皆様も参加いただけます。

### 横国 Day (ホームカミングデー) 同日開催

議事内容は、①平成30年度事業報告・収支報告  
②令和元年度事業計画・収支予算の説明を予定してい  
ます。校友会へのご意見もいただける貴重な場です  
ので是非ご参加ください。

## 平成30年度活動・決算報告

平成30年度事業報告および決算関係書類については、令和元年5月16日(木)に校友会監事4名による監査で、「適切である」との報告を受け、同5月31日(金)に開催された理事会および評議員会において承認決議されました。平成30年度主な活動は下記のとおりです。

### 1. 入学時(新入生向け)事業

#### (1) 新入生歓迎会

4月18日(水)第1食堂において学生幹事会の企画による新入生歓迎会を開催。

新入生及び学長、校友会会長、学部長、各同窓会長等を含む83名(内、新入生61名)が参加

#### (2) 横浜港ナイトクルーズ【同窓会との合同イベント】

5月28日(月)学生、留学生、保護者、大学関係者等を含め145名が参加。横浜港の夜景と同地区の歴史についての詳しい説明もあり大好評。

#### (3) 新入会員用ノベルティを作成

会員証交付と同時にノベルティ(ロゴ入りバインダー)を贈呈。

(4) 31年度入学生向け「校友会・同窓会のご案内」を作成、送付。

(5) 在学生、31年度新入生の保護者に学事暦入りカレンダーを作成。

### 2. 広報活動事業

(1) 校友会会報誌「ALL YNU」第4号の発行

### 3. 学生活動の支援事業

#### (1) キャリア教育支援

- ①1年次生 春学期 まなび座講座
- ②全学部受講対象科目、市村教授担当

#### (2) グローバル人材育成支援

- ①2年次生以上 秋学期「グローバル化と日本人」
- ②2年次生以上 秋学期「グローバルビジネス実践論」

#### (3) 学部との共催講演会

5学部と共催の講演会の開催:学部生にとってより身近な興味深いテーマで講師を学部と校友会が共催で講演会を実施。

#### (4) 部活動支援コンテスト(8団体がエントリー)

大学届け出団体の体育系・文科系部活動コンテスト。優勝団体への表彰と支援を通しての部活の活性化、大学ブランドアップを目指す。エントリー団体を書類審査で体育系、文化系それぞれ上位3団体を選出し、横国Day(ホームカミングデー)にて、各3団体がプレゼン・パフォーマンスを披露し、会場の聴衆のみなさんの投票で1位から3位を決め、交流会にて

科目	予算額	決算額	増減
<b>【収入の部】</b>			
基本財産運用収入			
・基本財産利息収入	0	0	0
会費収入			
・新入会員			
会費収入(学部生・大学院生)	28,100,000	27,800,000	△ 300,000
雑収入			
・寄附収入	0	40,000	40,000
・受取利息収入		311	311
・アプリコンテスト収入	100,000	850,000	750,000
・その他雑収入	928,644	1,565,416	636,772
・繰越預り金		0	
雑収入計	1,028,644	2,455,727	1,427,083
当期収入合計(A)	29,128,644	30,255,727	1,127,083
<b>【支出の部】</b>			
事業費			
・入学関連事業経費	4,010,000	5,518,050	△ 1,508,050
・広報活動事業経費	2,497,000	1,780,915	716,085
・学生活動支援事業経費	3,506,000	4,181,265	△ 675,265
・全会員対象事業経費	2,195,000	876,804	1,318,196
・大学支援事業経費	6,345,864	6,169,590	176,274
事業費計	18,553,864	18,526,624	27,240
管理費			
・事務局諸経費(※1)	1,500,000	1,294,829	205,171
・会員管理費	700,000	829,435	△ 129,435
管理費計	2,200,000	2,124,264	75,736
予備費	1,500,000	0	1,500,000
予備費計	1,500,000	0	1,500,000
当期支出合計(B)	22,253,864	20,650,888	1,602,976
当期収支差額(A)-(B)=(C)	6,874,780	9,604,839	2,730,059
前期繰越金(D)	21,740,168	21,740,168	
次期繰越金(C)+(D)	28,614,948	31,345,007	2,730,059

※1 事務局諸経費には当期減価償却費111,263円を含む。

表彰状・副賞を杉田亮毅校友会会長から授与。

(5) 第5回校友会主催学生アプリケーションコンテスト情報基盤センター協力の下11月18日(日)に株式会社アカツキ会議室において決勝のプレゼンがあり副賞(賞金):優勝30万円、準優勝10万円、特別賞15万円を決定した。

#### (6) 部活動激励会

4月16日(月)第1食堂において課外活動団体激励会を開催。31団体、関係者97名参加

#### (7) 就職支援活動【大学、同窓会との合同イベント】

平成31年2月9日(土)3年次生を対象に、現役OB/OGによる模擬面接会を開催。参加者81名(文系43名、理系38名)、面接官51名、業界別相談会9ブース

#### (8) 地域課題実習プロジェクト支援

平成31年2月15日(金)地域実践教育研究センターが推進する「地域課題実習プロジェクト」の報告会「地域実践アワード2018」に校友会賞を提供などで支援。

(9) 国立美術館(東京国立近代美術館、国立西洋美術館、国立新美術館)及び東京博物館キャンパスメンバーズを学生が無料で利用できるよう年会費を支援。

ご寄附いただいた  
皆さま

### 平成30-令和元年度寄附者御芳名

(平成30年8月から令和元年6月  
寄附金2万円以上で掲載可の方のみご寄附順・敬称略)

1 西田雅典 2 森山 潔

## 横浜国立大学校友会 ホームページ・facebookのご案内



横浜国立大学校友会では、会員登録の有無にかかわらず、会員の皆さま方へ校友会の各種活動、ご案内をお知らせするためにホームページを開設しています。総会・理事会・評議員会の議事掲載をはじめイベント案内なども行っておりますので、下記アドレスをぜひご覧ください。(今後発行する本会報についてもPDFで掲載していく予定です)



▶ <http://koyukai.ynu.ac.jp>



横浜国立大学校友会の Facebook ページが開設されました。今後は、・校友会のイベント情報・校友会の活動記録・学生生活の様子などを投稿していく予定です。横浜国立大学の学生から保護者の方々、卒業生や教職員の方々など、多くの方に御覧いただきたく、ページのいいね！をどうぞよろしくお願いします。



▶ <https://ja-jp.facebook.com/ynu.connect/>

## 横浜国立大学校友会 会員サイト 登録のお願い



横浜国立大学校友会では、会員の方々に会員システムへのご登録をお勧めしています。会員システムにご登録いただくことで、会員間での会員検索・連絡、校友会からの各種イベントの案内を受け取ることが可能となります。これから横浜国立大学校友会、ひいては横浜国立大学を盛り上げていくためにも、在学生、卒業生の皆さまのご登録をお待ちしています。

▶ <https://koyukai.ynu.jp>

会員サイトへのアクセスは、  
校友会ホームページのグローバルメニュー  
「会員サイト」→  
右メニュー「サイトへのリンク」を  
クリック



※既に会費をお支払いになられている会員(新1年生)につきましては、校友会事務局で登録を済ませております。会費お支払いの際、払込票に記載いただいたメールアドレスにID・パスワードが届いていない新入生会員の方については、お手数ですが、下記校友会事務局まで至急お問い合わせください。また、登録内容に変更が生じた場合、随時会員サイトにログインいただき、登録内容の修正を行ってください。

## 横浜国立大学校友会 会員証について



横浜国立大学校友会事務局では、現在会員証を配布中です。会費をお支払い済みの会員(在学生)でまだ受け取られていない方は、下記地図の事務局まで学生証持参の上、お越しくださるようお願いいたします。

## 横浜国立大学校友会 会報 ALL YNU 第5号

2019年7月31日発行

- ・本誌の記事・写真等の無断転載を禁じます。
- ・横浜国立大学校友会や本会報についてのお問い合わせは下記までお願いします。

編集・発行 横浜国立大学校友会  
連絡先 横浜国立大学校友会 事務局  
TEL:045-339-3177 FAX:045-339-3178  
e-mail:koyukai@ynu.ac.jp

▶ <http://koyukai.ynu.ac.jp>

表紙写真：インド水塔(撮影：川添裕)

